

56

2017.10
Tokai-Build



B!-co
Build-communication

株式会社 ビー・サポート様 新社屋 〈天白区古川町〉

設計: 東海・ビルド 建築士事務所 施工: 株式会社 東海・ビルド



プロジェクトの始まりは3年前…

3年前からお話しを聞いておりオフィスビルのリノベーションを検討させて頂いたこともありました。月日は流れ、ビーサポート様はようやく理想とする土地と出合い、最終的に数社のコンペの中から東海・ビルドに決めて下さり、新社屋を建築させて頂くことになりました。IT企業の経営者として確固たるビジョンと信念をお持ちのビーサポート様のT社長は、建築に対しても揺るがないビジョンと信念をお持ちです。そのビジョンと信念を如何に建築として具現化するかが今回のポイントでした。



最初は無事な計画のなかで決められたデザインをご提案。しかし、あれこれと…ガラスを多用した明るく開放的なデザインに。



「ガラスを多用した明るく開放的なデザイン」も、そのリクエストを聞いて、次の提案。今見ると結構カッコイイ。



最終的に近いイメージ。この形にとりあえずで何回も打ち合わせを重ねました。



コンセプト

基礎を鉄骨造りの質感で重く設定、ガラスと金属板の壁を浮かすデザイン。L型の重なりが立面のモチーフ。2,3階の屋上に植栽が顔を覗かせています。オフィスにはカフェの様な休憩スペースや屋上には和風の庭園が広がります。屋上庭園でBBQは設計の必須条件でした。「どうすれば社員が喜ぶだろうか。」それがT社長のログセ。設計から完成までの約1年間、ビーサポート様の新社屋プロジェクトチーム、東海・ビルドのプロジェクチーム双方がその言葉を胸に互いに感性をぶつけ合い、新社屋を創り上げました。

解体から完成、竣工祭



解体前の現場。ここが変わるとは...



解体後、すっきり開けた土地。



鉄骨の建て方
5層以上級すると一気に工事が進みます。



工事の無事とビーサポート様のご満足をお祈りする無事祈願。



内装もほぼ仕上がって来たと。
可動式のホワイトボードを設け行儀しています。



最上層は高山の門田君さん。個々に全て社長の自慢の跡をみせて頂く機会もあり、門田君さんにもこの社長と一緒に仕事したいと言って快く引き受けて頂きます。

工期は6か月。

鉄骨、ガラスのカーテンウォール、ALCと建物の主要な部材が工場製作物。製作に日数がかかる為、建物が上棟するまでに全て決定し製作に入らないと他の工事が出来ません。まだ敷地に何も立っていない時、ここが正念場とはかりに工事部、設計部でスムーズに現場が進むように綿密に打合せを重ねました。現場定例打合せも週に一度というペースで行い、時には日が暮れるまで行いました。ご多忙の中、お付き合いして頂いたビーサポート様チームに感謝です。互いに一つ一つにこだわり、納得した上でないと進めることはできません。



建物が完成し、竣工祭当日。本当に大勢の方がいらっしゃるとも素敵なパーティーでした。以前に昇任恒例のオータムコンサートに「社長」をご招待した際、演奏者だった「トリオ・ルーチェ」と出会いがあり、この竣工祭でも演奏する運びとなりました。竣工祭前の社員へのお披露目会の時、プロジェクトメンバー以外の社員の方たちが初めて新社屋をご覧になられました。その際の歓声や笑顔、「社員の為」と奮闘されていた「社長」の満足そうな表情を見ることが出来、このプロジェクトに携われてよかったなと心から思いました。



新社屋竣工



IT企業らしいスタイリッシュな外観の建物が完成しました。周囲の環境もこの建物が出来ることでガラリと変わり始め。



耐震性確保の事と地震対策のデッキの庇。
採光は高山の採中工の作業。
エントランスのサインはアルミを特殊加工し、前職工のよさを継承させた。



ビーサポート事務所の換気の手による定礎の文字。
レーザー加工で正確に彫り込みました。



明るく開放的なオフィスは、出社フリーアクセスフロア。
毎朝ここを掃除してくれるのは、フロア内をエリア分けし掃除をしてくれたコミュニケーションを誇ります。
オフィスの奥には受付者の余閑。照明器具は名作ルイス・ポルセン「PHOS Cleopatra」。
自然光を取り入れ、明るく爽やかな空間を演出。女性社員の方が毎日の出勤が楽しみで、このオフィス、使われますよ。



会議室。この場にビーサポートが獲得した優秀な社員が集まり、議論が絶えず。



物置庫裏との接点は、言大工出場の中村技師の手仕事。壁は高山の産物による、美しく温かい木の香りが漂っています。

- 建物名 — 株式会社ビーサポート 新社屋
- 所在地 — 天白区古川町
- 構造 — 重量鉄骨造3階建
- 面積 — 敷地面積/888.47㎡ (201.81坪)
建築面積/397.02㎡ (120.10坪)
総床面積/981.71㎡ (286.97坪)



Wakaba-Sou 和 -nagomi- <千種区萱場>

設計：東海・ビルド一級建築士事務所 施工：株式会社 東海・ビルド

■ 和テイストをさりげなく…

不動産会社を営んでいるオーナー様。仕事柄、様々な建築業者をご存知で、私達が始めてこのプロジェクトを伺った際も他社で話を聞かれました。

場所は名古屋市千種区萱場。ちょうど東区との区境に位置する計画地はナゴヤドームの真南。敷地面積は53坪程。こちらを購入して賃貸事業を行いたいとの御相談でした。

フォーカルポイントを北東角に決め、1階に賃貸店、2~4階を1R9戸という計画を提案。近くにはナゴヤドームだけでなく、イオンモールナゴヤドーム前店や名城大学ナゴヤドーム前キャンパス、程なくして地下鉄名鉄線「ナゴヤドーム前矢田」駅があります。

住環境に於いても文教地区という好立地。しかし、逆を言えばひとつ間違えれば雑物が届もれてしまうエリアとも言えます。

計画を進めるにつれて、北東角の隅となる部分にビルド得意の杉板打放しを取り入れ、居室の天井はコンクリート打放しと間接照明を採用し遊び心を持たせました。

他にもなにか…と打合せでディスカッションしていると、オーナー様より和のテイストを少し取り入れたいとご要望がありました。

エントランスに続くアプローチ部分の土間に洗い出し、天井の一部にも木目調アルミ板を取り入れ、且つオーナー様でご用意された流木を玄関ドアに取り入れました。

それならと壁にエッジの効いたスリットを入れ、左官を施しました。(殿垣左官)

ルームプレートもクルミやザクラなど木の名称を採用し、設計・製本の提案で材料も名前と同じ木材を使用し愛着の湧くプレートが出来上がりました。マンション名にも入っているように入居者様に-nagomi-の空間が提供出来たのではと感じた建物になりました。

また、1階テナントにはスロバキア料理の揚げピザをテイクアウトできるお店の出店が決まり、

OPENしたら覗きに行こうと思います。

- 建物名 - Wakaba-Sou 和 -nagomi-
- 所在地 - 千種区萱場
- 構造 - 鉄筋コンクリート造4階建
- 面積 - 敷地面積/178.10㎡ (53.27坪)
建築面積/120.70㎡ (36.51坪)
総床面積/463.66㎡ (140.26坪)



1つずつ違う木の名称と木材で作成したルームプレート。



エントランスアプローチに設置のスリット照明です。



下層の水平ラインと
2階の黒い箱状のバルコニーが
特徴的な外観。
お客様の松が先代からの
シンボルツリーです。

シンボルツリーの松



ここに墨組印が埋め込まれています

玄関ホールは階段部分の吹抜を活かした大きな空間。
神隠りされた大きな左官壁が
出迎えてくれます。



落し掛けの障子がコダワリです

障子の高さは1.8m。
落ち着いた雰囲気
の二階続きの和室空間。



シンボルツリーの松

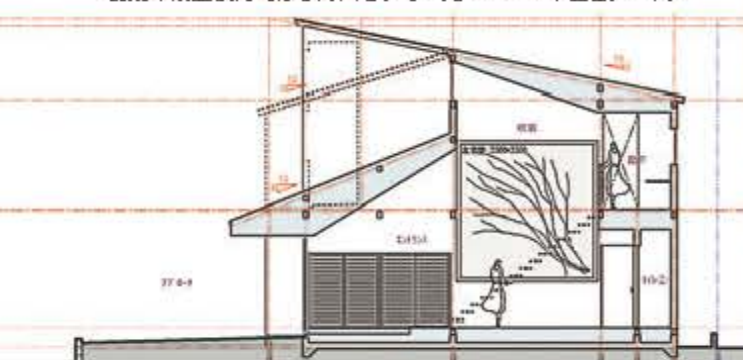
シンボルツリーの松を中心に
計画された庭を眺められる露縁空間。

天白区にてかれこれ14年程のお付き合いをさせて頂いているA様より、住宅新築のお話を頂きました。奥様より「外の息子」と言ってもらえる程、何でも話せる間柄です。まるで我が家の建替えのような気持ちでした。表しい気持ちと嬉しい気持ち、私の第二の自宅が望み完成です。
(営業・村松)

植田の家 <天白区植田西>

設計：アーキビルド設計工房 施工：株式会社 東海・ビルド

初期の断面検討時から計画されていた3M×3Mの左官アート。



着工時の外観CG/ベース。
門扉がジョリパットに変わりました。



定例会議では
多数のサンプルを見て、触って、
日光に当てて...



とても仲の良い、
村松と家主様。
定例会議時に記念撮影。



墨界の職人氏

「こんなにでっかいの、
やったことないさ」
左官職人・殿垣氏



リビングの左官アート壁。
玄関の左官アートと呼称しています。



殿垣左官と家主様夫婦。
和気藹々と打合せが進みます。

シンボルツリーの松

～社員の夢実現プロジェクト～

庄名の家

〈春日井市庄名町〉

設計：アーキビルド設計工房 施工：株式会社東海・ビルド



施主様の要望は、ただ一つ。夢のマイホームを自らが設計し、形にすること。
長年、内に秘めていた熱い想いを、ようやく形にすることができた当社社員5のマイホームがここ春日井に完成しました。

東海・ビルドの十八番、杉板のコンクリート床を取り入れたエントランスアプローチをはじめ、左官職人・殿塚氏によるデザイン監修で構成された畳コーナーなど、東海・ビルドで得た知識・経験を活かし、素敵な住宅を建てて頂きました。(社員5)



左官職人・殿塚氏によるスキヤクのデザイン監修。
階段が一つとなり、両方向を向いて動けます。
そんな思いが込められています。
壁間の上下に虫除けを考慮した開口部を計画しましたが、今は虫除けの虫よけの役割です。



化粧板と下がり天井を使って水平ラインを強調し、LDK。



暖房の遠征なスペースを兼ねる位置に畳コーナーの床を計画。見事です。



安全のために全面ガラス、樹脂のガラスを使用。

Re.ビルド

M様邸 築90年再生プロジェクト 〈緑区徳重〉

設計：アーキビルド設計工房 施工：株式会社東海・ビルド



築90年のM様のご自宅。
水廻りの老朽化や不便な点が増え、自宅の建て替えをするのか、リノベーションをするのか迷われていたM様。
ずっと昔から建て替えたい気持ちがおありだったようですが、いざ話になると自宅に対する愛着や代々受け継がれてきた重みを感じられて、さらに迷われました。
最終的に、この先100年経っても代々受け継がれるように、リノベーションを決断されました。
出来るだけ母屋は手を入れないようにし、必要な部分は増築やリノベーションして、大切なご自宅の歴史を繋いでいくのでした。



左はリノベーション前の写真。屋根を壊しつつ必要に応じて増築し、必要部分を増築しました。増築部分の位置を、片流れの屋根に合わせ、ハイサイドライトから光を取り込みます。

居間(増築部)



増築した居間は片流れの屋根と光が入り、明るく快適な空間となりました。すっきり家族5人の場です。片流れの屋根に合ったハイサイドライトから光を取り込みます。



ダイニングキッチン(リノベーション)



長年ご愛用のキッチン、広々として大活躍の収納があります。ダイニングテーブルへと動く作業台はシンク付き。やはり長年愛用された夫婦、背中を預けられる信頼ですね。ご主人と一緒に料理されるそうです。



暖房との間仕切りには、お母さんがステンダンプラスを詰め込みました。

新入社員紹介

初めまして。

4月から東海・ビルドに入社しました工事部の原崎です。
3年間建築の専門学校で技術や知識を学んできました。
学生時代は、現場監督になるか設計士になるか悩んでいましたが
直接現場で建物に接してみたいと思い現場監督になろうと決めました。
そこで見つけた会社が東海・ビルドです。
まだ至らないところばかりですが精一杯努めていきますので
宜しくお願いします。

工事部
原崎 光基



初めまして。

今年の3月に入社しました総務・経理部の大上真理子です。
趣味は旅行に行く事と、料理をする事です。
入社して半年がたち、まだまだ分からないことが多いですが、
精いっぱい務めさせていただきます。
どうぞよろしくお祈いします。

写真のワンちゃんは第1回わん・にゃん!-coで
登場したチワワの大上ルルちゃんです。
もう14歳になりました。
とっても可愛いです!!

総務経理部
大上 真理子



こんにちは、BI-co編集部です。
暑い夏が終わりを告げ、すっかり秋めいてきた今日この頃、
皆様いかがお過ごしでしょうか。
今年の夏の暑い、いや熱い思い出として指導する少年野球のOBの一人が夏の甲子園に
出場。見事ベスト4まで進出しました。
また、お客様の関連チームが都市対抗野球でベスト8に進出もいたしました。
私の周りで野球の嬉しいニュースがあり、大変盛り上がりました。
弊社におきましても、秋より様々なイベントを開催します。
日頃お世話になっているお客様はもちろん、新しいお客様とのふれあいのシーンが増え
ます。社員一同感謝の気持ちを込めて取り組んでいきます。
宜しくお願い致します。

TOKAI-BUILD NEWS「BI-co」編集部

株式会社 東海・ビルド

特定建設業 知事(特-27)第49209号 宅地建物取引業 知事(4)第18792号
東海・ビルド一級建築士事務所 住宅性能保証制度登録店
〒465-0008 名古屋市名東区猪子石原一丁目1307番地

☎052-772-9100 (代)



<http://www.tokai-build.com>
E-mail eigy@tokai-build.com
[blog tokai-build.blog.ocn.ne.jp](http://blog.tokai-build.blog.ocn.ne.jp)

東海・ビルド | 検索